

## A班ワークショップ結果（H21.11.20 第7回全体会） テーマ：保健、医療、福祉

会員 高橋渉（進行役）、湯澤正、菅原彰、佐々木浩輔、高橋智、平藤節夫  
事務局 畠山幸雄（記録係）

### 充足・プラス面

#### ◆ 施設

- ・ 人口に比して福祉・医療施設が充実している。
- ・ 沢内病院がある。
- ・ 民間医療機関が多い。
- ・ ワークステーションができてよかった。（住民が求めていた施設）

#### ◆ 住民意識

- ・ 長年培ってきた保健活動に裏打ちされた住民意識がある。
- ・ 地域の「結い」が色濃く残っている分野である。
- ・ 生命尊重の理念が住民に根付いている。
- ・ 隣近所のつながりが深い。

#### ◆ 充足の背景（歴史）

- ・ 保健活動に活発に取り組んできた歴史がある。

#### ◆ 結果（取り組みの結実）

- ・ 元気な高齢者が多い。
- ・ 高齢化比率が高いということは全体に長生きできる町ということではないか。
- ・ 要介護老人等の比率を多市町村と比較すると、西和賀町はずいぶん低いのではないか。（具体データほしい）

#### ◆ その他

- ・ 広大な面積ではあるが、横手、北上、盛岡いずれかに1時間以内で行ける。緊急時対応として便利なところである。
- ・ 水洗化率は県内で上位であり、衛生面でも進んでいる。
- ・ 「いのちの作法」「いのちの山河」「葦牙（あしかび）」といういのちの三部作が短期間で作られ、自分たちの町の歴史、あるいは今の取組が第三者的に映像で見られる。

## 不足・マイナス面

### ◆ 財政・経済

- ・ 国保保険者として被保険者が少なく、財政基盤が弱い。
- ・ 施設が充実している分、(財政的な)負担が多い。
- ・ 住民個々の負担が大きい。

### ◆ 施設

- ・ 沢内病院が、施設面でも機能面でも老朽化している。

### ◆ 町の取り組み

- ・ 保健活動に対する理解が一定でない。
- ・ 保健・医療・福祉施策の統一した方針が町に感じられない。
- ・ 健康を守ろうという理念が弱く、プログラムもない。

⇒ かつては先進的な取組が行われていたが、国の制度導入で町としての独自の取組が弱くなり、追いつかれてしまった。

### ◆ 不足(マイナス面)の背景

(地域)

- ・ 小さな町(人口7000人)のメリットが生かされていない。
- ・ 地域経済のスケールが小さく、弱者にまで手が届きにくい。
- ・ (医療福祉を必要とする対象者のことが)わかりすぎて介入できないことがある。

(施設)

- ・ 認知症に対応する施設(取り組み)が少ないのではないかと。
- ・ 軽い症状以外は横手・北上の医療機関に行く傾向が強い。
- ・ 医療機関は検査が多い。(別の医療機関に行くと必ず検査が繰り返される。)
- ・ 沢内病院と民間医療機関の連携が弱い。

(住民意識)

- ・ 命さえも他人まかせにする風潮がある。(医者頼み)
- ・ 壮年層を中心に、自分の身体を大事にしていない人が多い。(検診を受けない)
- ・ 住民にコスト意識が低い。

### 【めざすべき方向性】

- ・ 保健活動を核にした取組が必要である。
- ・ 「生活習慣病ゼロのまちづくり」といった目標を掲げて、町全体で取り組むことが必要である。
- ・ 食や運動など、保健予防活動を住民運動にまで広げていかなければならない。
- ・ 町としての一体性の醸成。

## B班ワークショップ結果 (H21.11.20 第7回全体会)

### テーマ：保健、医療、福祉

会員 淀川豊（進行役）、刈田敏、黒淵淳一、高橋清一郎、高橋浩幸、  
事務局 菊地浩記、石川茅（記録係）

#### 充足・プラス面

##### ◆ 生命尊重の理念

- ・ 旧沢内村の理念、生命尊重の理念や歴史がある。
- ・ 全国初の乳児死亡率ゼロ達成等保健、福祉先進地のイメージがある。

##### ◆ 沢内病院

- ・ 沢内病院があり、救急に対応できる。
- ・ 沢内病院が地域にある。夜でも診てくれる。
- ・ 入院救急がある等医療機能が充実

##### ◆ ドック（総合成人病検診）

- ・ 検診の充実
- ・ 沢内病院人間ドックが割安で受けられる。

##### ◆ 民間病院（多い、充実している）

- ・ 病院が近くにある。湯本に病院が集まっていて行きやすい。
- ・ 赤坂医院は予約で、沢内病院でも曜日により仕事が終わってからでも治療してもらえる。
- ・ 歯医者が4つもある。薬局が3つある。
- ・ 医療施設への送迎体制が整っている。

##### ◆ 福祉施設多い

- ・ 介護施設が多い。
- ・ 高齢者福祉施設が沢山ある。グループホームも4つもある。
- ・ 障がい者施設もある。

⇒ 施設数が多い。医院、病院、福祉施設等

##### ◆ 地域の力

- ・ 見守る心
- ・ 近所づきあいがある。
- ・ 地域での交流やつながりがある。（1人暮らしの老人）

◆ 相談しやすい（分庁だけど）

- ・ 役場が2箇所にある。便利。

◆ 温泉入浴施設が身近にあり気軽に入れる。

**不足・マイナス面**

◆ 経営不安定（原因）

- ・ 沢内病院の医者の確保
- ・ 医療サービスの不安定なところがある。（沢内病院に限らず）  
↓↓↓

◆ 沢内病院の赤字（結果）

- ・ 町民の沢内病院に対する考え方。決して黒字であれば良いというわけではない。住民サービスの一環

◆ 高度医療が遠い

- ・ 高度医療を受けるためには遠くに行かなければならない。
- ・ 交通アクセスが良くない

◆ 連携不足

- ・ 公共と民間のつながりが無い。
- ・ 個人委員と沢内病院の連携（休日、夜間の体制）

◆ 住民の意識

- ・ 老人医療費給付が当たり前になってありがたみを忘れている。
- ・ 保育所前の子ども、自分が小さい頃保健師が巡回に来たが今はどうか。
- ・ 在宅看護に対する保健師と病院（訪問）との更なる連携と充実
- ・ 保健活動を理解しようとあまりしてない

◆ 負担＝個人も行政も

- ・ お金がかかる（福祉）

◆ 高齢化＝現状最大の課題

- ・ 住民の高齢化
- ・ 地域の高齢化

◆ （福祉施設多いけど）待機者が結構いるようで入りづらい